第４回うきは市議会一般質問通告書

令和５年12月８日

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
1	１３	野鶴修議員	**１．中山間地域の農業を守る政策について** （１）人口減少が進む中、中山間地域における農業の存続問題は、ますます深刻な課題となっている。こうした中山間地域の農業を守るための政策をどう考えているのか。 （２）中でも、新川・田篭地区は伝統的建造物群保存地区に指定されているが、この保存地区は棚田と茅葺き民家が一体となった農村の原風景が指定された要因だと思う。この農村や集落を、今後どのようにして守り、保存していくつもりなのか、その具体策を伺う。	市長
			２．市役所職員の定数と職員の人材育成について （１）うきは市の職員数は定数割れの状態が長年続いている。人口減少が進む中、一定程度の定数割れはやむを得ないと思うが、人口は減ってもうきは市の課題は山積している。今の状態でいいのか。市長の所見を伺う。 （２）職員の育成には、職場環境や職場での人間関係が大きく左右されると思うが、そうした中で、髙木市長になって行われている国との人事交流は、本当に職員の人材育成につながっているのか。市長の所見を伺う。	市長
			３．各課、係の業務の見直しと機構改革について （１）市長は「スクラップアンドビルド」と言うが、実際、各課・係の業務について、最近具体的に検討したことはあるのか。 （２）現状において、うきは市の課題は山積している。 現在、職員においては兼務が多く、対応しきれていないと感じる。今後の業務や職員の負担を考えて、組織の再編を検討した方がいいと思うが、市長の所見を伺う。 また、市民にわかりやすい係名等への変更も併せて検討すべきと思うが、所見を伺う。	市長

第４回うきは市議会一般質問通告書

令和５年12月８日

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
２	４	樋口隆三議員	**１．浮羽中学校校舎の修理の実施について** （１）浮羽中学校校舎は修理等の営繕工事を計画的に行うよう９月定例会の厚生文教常任委員会報告で提案しているが、浮羽中学校校舎の現状について、市長の見解及び今後の校舎営繕等についての方針を伺う。 （２）長寿命化の方針を踏まえ、改築の計画が予定されている建物がある場合でも、改築より工事費が安価で、当面、安全性・機能性が確保できる修理で対応するとの見解なのか伺う。 （３）浮羽中学校校舎の長寿命化改修費が、令和７年度から令和８年度にかけて約１５億１,７５２万円と見積もられているが、修理を行うのか見解を伺う。	市長
			２．「ヤングケアラー」の実態について （１）「ヤングケアラー実態調査」の進行状況及び「ヤングケアラー」対策として力を入れたい施策について伺う。 （２）「うきは市要保護児童対策地域協議会」においては、「ヤングケアラー」と思われる子どもの対応方針を決定する部署（機関）は、どこが担当し、「ヤングケアラー」対策がなぜ必要なのか見解を伺う。 （３）「ヤングケアラー」は、どんなことで苦悩しているのか。また、どのような支援が必要か伺う。	市長
			３．不登校対策について （１）さいたま市では、不登校等が原因で学校を長期欠席している児童・生徒にオンラインを活用した学びの場を提供する「不登校等児童生徒支援センター（グロウス）」を開設している。今後、本市でもこのシステムが参考にできないか、見解を伺う。 （２）不登校対策として、前回の答弁でタブレットを活用したアンケート等を実施しているとあった。その効果についての見解を伺う。	教育長

第４回うきは市議会一般質問通告書

令和５年12月８日

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
３	１１	佐藤湛陽議員	**１．災害に強い町づくりについて** （１）近年では気候の変動により大きな災害が頻繁に発生するようになっている。災害について見解を伺う。 **２．土砂災害・山崩れについて** （１）うきは市内において朝倉市のような土砂災害が起きそうな場所の把握はできているのか、また、その対策を伺う。 （２）今年の７月に元有地区で発生した山腹崩壊の原因について伺う。 **３．ため池について** （１）現在、うきは市内のため池の数、利用されているため池の数及び利用されていないため池の数は、それぞれいくつあるのか伺う。 （２）国・県・市の補助事業に対する負担金割合はどうなっているのか伺う。 （３）ため池保全条例は、先行事例を調査したのか伺う。 **４．東校跡地の活用について** （１）現在までの維持管理費の累計を伺う。 （２）東校跡地の現在の状況はどうなっているのか伺う。 （３）今まで購入希望があったと思うが購入までに至らなかった理由は何か伺う。 （４）山曽谷川の周辺整備計画について詳細を伺う。	市長 市長 市長 市長
４	１０	中野義信議員	**１．うきは市の上水道事業について** （１）昨年９月と12月の一般質問の中で、令和７年度頃に基本計画策定の前段階として、「目安となる水道料金を始め、一般会計からの繰入金、加入者負担金等の項目を含めた収支計画をお示しすることが重要と考えている」と答弁されている。今後の対応を検討するための収支計画書はできているのか。	市長

第４回うきは市議会一般質問通告書

令和５年12月８日

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
４	１０	中野義信議員	（２）これまでに、地下水調査をした結果、地下にたまっている数量は、豊富であるという結果が出ている。人口減少の中で独立採算を目指すべき上水道事業は必要か、うきは市の水はおいしいと評判である。これを生かす方法を考えたらどうか。 **２．藤波ダム公園の管理と利用について** （１）平成３０年１１月に、御幸・妹川地区自治協議会から連名でパークゴルフ場建設について請願書が出されていたが、今後の取組を伺う。 **３．西ノ城古墳について** （１）耳納山麓（小坂・流川地区）に古墳の跡が見つかって話題となったが、今後の市としての対応を伺う。 （２）今年７月の集中豪雨で、古墳の周辺の住民は不安を抱いているが、どのように理解しているのか。 **４．男女共同参画による社会づくりについて** （１）うきは市には、地方自治法第２０２条の３に基づく審議会・協議会等の３５の附属機関がある。女性登用率等の令和７年度の目標４０.６％達成についての取組を伺う。	市長 市長 市長
５	６	佐藤裕宣議員	**１．空き家対策について** （１）現在、うきは市に空き家は何件あるか伺う。 （２）調査の頻度と今後の見通しについて伺う。 （３）空き家バンクについて、制度の目的と意義について伺う。 （４）空き家バンクについて、他市（日田市など）に比べて条件は有利だが物件登録が圧倒的に少ない。その理由について分析はしているか伺う。	市長

第４回うきは市議会一般質問通告書

令和５年12月８日

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
５	６	佐藤裕宣議員	**２．東校跡地活用について** （１）昨年６月議会一般質問の中で市長は、東校跡地については「可能な限り速やかに住宅用地を基本とした公募等による売却を進めていきたい」と答弁されたが、その後の経過について伺う。 （２）住宅用地という方針は変わっていないのか伺う。 （３）山曽谷川河川改修の協議内容を注視しながら、との答弁もあったが、協議の進捗状況、いつ頃の工事になるのか伺う。 **３．浮羽究真館高校活性化について** （１）うきは市唯一の高校である浮羽究真館高校は、定員割れの状態がここ数年続いているが、この現状について市長の見解を伺う。	市長 市長
６	８	岩淵和明議員	**１．農業基本条例の制定について** うきは市の基幹産業と位置付けている農業について、人口減少と少子高齢化が深刻で、担い手不足への展望が見えていない現状がある。 ５年１０年単位での施策の展望を計画に落とし込み、現状分析を行い、検証し、方策を練り上げ、基幹産業として関係者の理解と協力を得ながら、うきは市独自に基本方針を策定する必要があると思うが、次の所見を伺う。 （１）農業振興と施策に関する基本条例を制定すること。 （２）策定のための審議会を早期に立ち上げること。 （３）農林振興課に人員の増強と体制を図ること。 **２．うきは市国民健康保険税の見直しについて** （１）うきは市の国民健康保険事業の運営は平成３０年から福岡県が財政運営の責任を担う県単位化が実施され、うきは市が賦課徴収・給付等の実務を行っている。運営の主体が県に移行し、財政的な安定が図られていると思うが、どのように評価しているのか伺う。	市長 市長

第４回うきは市議会一般質問通告書

令和５年 12 月８日

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
			（２）うきは市の国保税は県内でも高い水準にあり、令和５年度から、従来の４方式から３方式へ変更したことは評価できるが、引下げを求める。	
7	1	権藤英樹議員	１．ルリーロ福岡支援も含めた本市全体のスポーツ振興について （１） 昨年４月に本市を拠点に結成された「ルリーロ福岡」のリーグ戦成績や地域活動への貢献を踏まえた今後の「うきはラグビータウンプロジェクト」のあり方について市長の見解を伺う。 （昨年 12 月議会ほぼ同文） （２） 九州トップクラスのチームが本拠地に選び、本市も４者協定を締結するなど支援を表明しているが、ホームゲームを開催できるグラウンドどころか、実戦さながらの練習ができる芝生の土地さえない現状について、市有施設を活用した支援はできないものか、市長の見解を伺う。 （昨年 12 月議会同文） （３） 本市の体育施設について、施設管理計画はあるが、施設管理計画にうたわれている施設再編の具体的計画や、その根拠となるべきスポーツ振興の個別計画がない。ルリーロ福岡の活動も「含めた」中での本市のスポーツ振興計画並びに体育施設再編整備計画を策定すべき時期ではないか。市長の見解を伺う。	市長
			２．本市の防災対策について （１）本市の指定避難所の現状と課題について伺う。 （２）行政区単位での自主防災組織の現状と機能性について見解を伺う。 （３）地域防災計画にある避難行動要支援者対策について、登録された要支援者数を伺うとともに、未登録を含めた要支援者の概数を市は把握しているか伺う。	市長

第４回うきは市議会一般質問通告書

令和５年 12 月８日

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
			（４）個別支援計画の作成希望者数と計画作成の実態について伺う。あわせて、障がい者については、障害に応じた連絡体制の確立や、福祉避難所の設置や連携といった個別支援が必要だと感じるが本市の現状を伺う。 （５）外国人に対する防災教育・訓練の実施、災害時の情報提供について、本市の現状を伺う。	
８	７	竹永茂美議員	**１．若者やお年寄りが住みやすいまちづくりについて** （１）夏季休業中の小学校プール開放について、こども基本法に基づく子どもたちの意見聴取の状況と、各小学校や行政が意見をどう反映したのか伺う。 （２）各小中学校の保護者負担軽減策について伺う。 （３）就学援助費改正の進捗状況について伺う。 **２．安全・安心のまちづくりについて** （１）2023 年度通学路の安全確保について、小学校区ごとに伺う。また、うきは市の取り組みについて伺う。 **３．法律や条例、規則が守られるまちづくりについて** （１）2023 年９月の市職員と教職員の小・中別超過勤務の実態（45 時間以上、80 時間以上、100 時間以上の人数）について伺う。また、本年度の超勤実態について５人の教育委員会や総括健康管理委員会での超過勤務縮減策について伺う。 （２）「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に対するうきは市の基本的な考えと条例制定の進捗状況について伺う。	教育長 市長 教育長 市長 教育長 市長

第４回うきは市議会一般質問通告書

令和５年12月８日

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
９	９	熊懐和明議員	**１．介護福祉支援について** （１）介護度が重くても満室等の理由により施設に入所できない要介護者の支援はどうされているのか。 また、介護度が低いため、介護施設等に入所できず、在宅介護をされている方々への支援はどうされているのか伺う。 （２）令和３年４月の社会福祉法改正に基づいて新設された、重層的支援体制整備事業のうきは市の実施計画について伺う。 **２．空き家等対策について** （１）空き家バンク登録状況、今後の数的経過等について伺う。 （２）管理不全空き家、特定空き家除去等の現状について伺う。	市長 市長
１０	２	髙木亜希子議員	**１．民間への「会計年度任用職員包括業務委託」について** （１）９月定例会に提案され、取り下げられた「会計年度任用職員包括業務委託」について、再考されていると推察するが、取組について伺う。 **２．これからの時代の児童・生徒の学びについて** （１）世代間交流や地域の将来を踏まえ、本市の基幹産業が農業である強みを児童・生徒の育ちに生かしたい。そこで、農業科に取り組んでいる先進事例を参考に、長期スパンで農業というツールを使ったアクティブラーニングとして、農業生産・販売・広報等を学ぶ九州初のモデル事業に取り組んではどうか。 （２）モデル事業の数年後に、市内全小中学校の総合学習でこの事業に取り組んではどうか。 （３）また、これらを行う際に地域との連絡・調整を行う人材を外部から登用してはどうか。	市長 市長 教育長

第４回うきは市議会一般質問通告書

令和５年12月８日

質問順	議席番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の相手
１１	３	高松幸茂議員	**１．いじめ・不登校への対策について** いじめと不登校への対応は、学校教育における大きな課題であるが、うきは市においては不登校生徒の数は高い値で推移しており、教育を受ける権利の保障の観点から、より良い方法で改善していくことが望まれる。 (1) これまでのスクールカウンセラーの活用について、不登校以外も含めてどのような効果があったと考えられるか伺う。 (2) 今後、考えている不登校対策について伺う。 (3) スクールソーシャルワーカーの活用について、本市では過去にどのように活用し、効果があったのか伺う。 (4) 適応指導教室を学校復帰のための施設として設置しているが、引きこもり状態にある生徒を家から出られるようにするために、どのように取り組むのか伺う。 **２．防災対策について** 今年７月10日の集中豪雨で、山間部では比較的小規模な土砂崩れが多数発生し、平たん部では小規模河川の内水氾濫による家屋の床上床下の浸水被害と多数の車両被害が発生した。今後も地球温暖化は続くため、同様かそれ以上の豪雨がどこかで必ず起きると考えなければならない。 (1) 想定降雨量などに基づいた防災施設整備の限界をどのように考えているか、激甚化の進む災害を想定して防災への費用を増やすのか伺う。 (2) 発災を見越してどのように被害を少なくするかについて、行政ができること、地域で取り組めることをお知らせし、より狭い範囲、各家庭、個人で備えておくことを、市民の皆さんまで行動レベルで記述することが理想であるが、どのように取り組んでいこうとしているか伺う。 (3) 地球温暖化を止めるのが根本的な解決の方法だが、市民の理解が進んできたとはいえ、具体的な行動に移せているとは言い難い。啓発に向けた市の取組はどのように行うか伺う。	教育長 市長